

授業科目	* 英検演習 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	EN11105J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-1			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	英検(実用英語技能検定試験)準2級から準1級の合格を目指し、授業内では特にリスニング力の強化を行う。テキストは英検2級のものを使うが、リスニングの勉強の仕方を教えるので、2級を既に合格している人も、自分が目指す級のリスニング教材に応用することができるようにする。リスニング強化が速読にも繋がることを理解する。またレポート課題では各自目標の級合格を目指して学習計画を立て、毎週、実行した内容を記していき、自己評価を行う。受講者はできれば指定された時期の英検準2級または、2級を学外で受験すること。(ただし、すでに2級に合格している人は、今回再び受験しなくて構わない。)							
学生が達成すべき行動目標	1.読む: 社会性のある内容の文章を理解することができる。 2.聞く: 社会性のある内容を理解することができる。 3.話す: 社会性のある話題についてやりとりすることができる。 4.書く: 社会性のある話題について書くことができる。							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	20	20	20	0	0	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20	20				20	60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20			20	40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
英検準1級の試験勉強につなげることができる。				英検2級に合格することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業オリエンテーション 英検合格に向けての学習の仕方、今後の授業の進め方についての説明を行う。最後に合格に向けての各			説明		予習:教科書の Chapter1 を読んでおくこと。 復習:レポートの計画を立てる		90

	自の学習計画を立ててもらう。(必ずテキストを準備しておくこと)			
2	単語テストの後、リスニング Unit1 (p.32-p.41) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
3	単語テストの後、リスニング Unit2 (p.42-p.51) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
4	単語テストの後、リスニング Unit3 (p.52-p.61) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
5	単語テストの後、リスニング Unit4 (p.62-p.72) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
6	単語テストの後、リスニング Chapter 3 Unit 1 (p.74-p.83) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
7	単語テストの後、リスニング Chapter 3 Unit 2 (p.84-p.93) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
8	単語テストの後、リスニング Chapter 3 Unit 3 (p.94-p.101) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
9	単語テストの後、リスニング Chapter 3 Unit 4 (p.102-p.112) 問題を解き、問題、選択肢のシャドーイングをして英語の音声になれる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
10	2級 Listening Test 模擬テスト第1回を解き、答え合わせをして自分の正解と間違いの分析をする。	試験・解答チェック、自己分析	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
11	2級 Listening Test 模擬テスト第2回を解き、答え合わせをして自分の正解と間違いの分析をする。	試験・解答チェック、自己分析	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
12	単語テストの後、準1級(第1部)リスニング問題を解き、問題と選択肢をシャドーイングして英語の音声の聞き取りに慣れる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
13	準1級(第2部)リスニング問題を解き、問題と選択肢をシャドーイングして英語の音声の聞き取りに慣れる。	講義・演習・小テスト	当該部分の予習・復習 レポートをする	90
14	準1級リスニング問題を解き、問題と選択肢をシャドーイングして英語の音声の聞き取りに慣れる。	講義・演習・小テスト *レポート回収予定	当該部分の復習	90
15	今までの講義の復習をし、理解度を確認する。	講義・まとめ 授業アンケート	当該部分の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校の英語を総復習し、授業が始まる前にできるだけ英検の勉強を進めておくこと			
テキスト	英検2級リスニング問題[改訂版] 旺文社 出る順パス単英検2級、旺文社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	英語を習得するためには繰り返し学習することが一番効果的です。予習をして授業に臨み、復習をして学習内容が確実に定着するようにしてください。 * 1回目の授業よりテキストを使用するので、必ず購入しておくこと！			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>・試験 20%・・・実施の仕方は第1回目の授業で説明する。</p> <p>・レポート 20%・・・以下の「レポートの選択肢」より自分に合ったものをどれか一つ選択すること。提出は、第14回授業を予定。</p> <p>・その他 60%・・・日頃の授業の出席態度、課題(単語テスト、自分の計画に基づいた勉強)への取組で評価する。</p> <p>「レポートの選択肢」</p> <p>☆英検2級にまだ合格していない人:</p> <p>1, 英検 S-CBT(オンライン型)の英検2級、または準2級を個人で申し込んで、受験したことがわかるものをコピーし、裏面に自分なりの分析(今後の学習目標など)を書く</p> <p>2, 英検2級、または準2級(従来型英検)を個人で申し込んで、受験したことがわかるものをコピーし、裏面に自分なりの分析(今後の学習目標など)を書く</p> <p>☆英検2級をすでに合格している人:</p> <p>1, (図書館借用または個人購入型)英検の過去問を2回分時間を計って解答し、解説を読んでメモなどをとってください。どの級のどの過去問を2回分選ぶかは、個人に任せます。ただし、過去に勉強したものではなく、今回新たに解答すること。勉強したことがわかるノートかレポート用紙を提出してください。</p> <p>2, (ネット型)https://www.eiken.or.jp/eiken/</p> <p>上記の公式英検ホームページにアクセスし、「英ナビ!スタディ・ギア」のマイページに登録して、定期的に取り組んでたくさん学習してください。勉強する英検の級は自分で決めていいですが、準1級には対応していな</p>			

	<p>いかかもしれません。勉強したことがわかるページをスクリーンショットで保存し、プリントアウトして提出してください。</p> <p>3, 英検 S-CBT(オンライン型)の英検準1級を個人で申し込んで、受験したことがわかるものをコピーし、裏面に自分なりの分析(今後の学習目標など)を書く</p> <p>4, 英検準1級(従来型英検)を個人で申し込んで、受験したことがわかるものをコピーし、裏面に自分なりの分析(今後の学習目標など)を書く</p>
--	---